

科目ナンバリング		U-LAS04 20028 LJ45							
授業科目名 ＜英訳＞		社会学各論Ⅰ Advanced Sociology I				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 岡崎 宏樹	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月4		配当学年	全回生		対象学生 全学向
[授業の概要・目的]									
【講義の概要】 エミール・デュルケームは、哲学・歴史学・宗教学・心理学などから新たな知見を取り入れて、フランス近代社会学の礎を築きました。その思考は、マルセル・モースをはじめとしたデュルケーム学派の基礎となり、カイヨワ、バタイユ、バウマンなど後代の社会学者や思想家たちによって批判的に継承されました。 この授業では、デュルケーム／デュルケーム学派の学説を出発点に、社会学理論が発展してゆく歴史を学ぶことを通じて〈社会学的思考〉の基本を修得します。また理論・学説を現代社会の分析に応用する方法を学ぶことを通じて、〈社会学的思考〉を培います。									
[到達目標]									
社会学の学説史の展開と理論の応用可能性を学ぶことを通じて〈社会学的思考〉の基本を修得する。									
[授業計画と内容]									
基本的に以下のプランに従って講義を進めます。ただし講義の進みぐあい、履修者の理解度などを考慮し、内容や進め方を調整する場合があります。 01. エミール・デュルケームとは誰か？／社会と人間への視座 02. デュルケーム：社会的分業と連帯 03. デュルケーム：自殺論 04. デュルケーム：アノミー 05. デュルケーム：道徳と教育 06. デュルケーム：集合的沸騰：祝祭と革命 07. デュルケーム：人格崇拜と道徳的個人主義 08. モース：贈与 09. アルヴァックス：集合的記憶 10. カイヨワ：遊びと戦争 11. ジラール：暴力と儀礼 12. バタイユ：至高性と交流 13. ベルクソンと作田啓一：生成の社会学をめざして 14. バウマン：他者とともにあること 15. フィードバック									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
・平常点（小レポート 80点）、期末レポート（20点）で評価する（100点満点）。 ・100 点満点、60 点以上で合格。 ・4 回以上授業を欠席した場合には、単位を認めない。									
社会学各論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓									

社会学各論Ⅰ(2)

[教科書]

岡崎宏樹・中島道男・小川伸彦・山田陽子編『社会学の基本 デュルケームの論点』（学文社、2021年）ISBN:9784762030390（社会学創始者のひとりエミール・デュルケームとその学派・同時代人・継承者・批判者たちの思考を、43のキーワードと命題で解説した本格派入門書です。）

[参考書等]

（参考書）

岡崎宏樹『バタイユからの社会学——至高性、交流、#21085き出しの生』（関西学院大学出版会、2020年）ISBN:9784862833068（バタイユの著作を社会学的に読み解き、その知見を取り入れることで社会学理論を深化させる。）

[授業外学修（予習・復習）等]

各回に関連するパートを授業内に示すので、教科書『社会学の基本 デュルケームの論点』を読んで、予習・復習を進めてください（あわせて60分程度）。

授業で取り上げる主題以外の項目を自主的に学習して、〈社会学的思考〉を深化させることを推奨します。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーは毎回の授業直後とします。
メールでの質問：okazaki@css.kobegakuin.ac.jp